

危険物施設の鋼製地下貯蔵タンク及び鋼製地下配管の電気防食に関する規格改正小委員会の概要

1. 主旨

当規格書は 2006 年に制定されており、見直しの時期にきている。現在、既設の危険物地下貯蔵タンクに電気防食が適用されているが、現規格書を基にした防食管理が困難な事案があることが明らかとなった。また、その管理方法が統一されていないのが現状である。

そこで、基準の見直しや補足資料の充実を図り、当時の規格制定委員や実務者により構成する規格改正委員会を立ち上げ、今後の施設管理の安全性向上に寄与することを目的とする。

2. 構成メンバー：20 名

委員長：梶山 文夫（東京ガス）

幹事：審良 善和（鹿児島大学）、飯田 知宏（日本防蝕工業）

委員：青柳 秀樹（日立オートモティブ S. M.）、朝倉 祝治（横浜国立大学 名誉教授）

雨森 宏之（A-TEC）、荒井 実（元日本防蝕工業）、伊藤 善夫（日本防蝕工業）、川村 知嗣（富永製作所）、栗原 徹（日立オートモティブ S. M.）、佐々木 信博（新日鉄住金エンジニアリング）、正田 泰樹（ナカボーテック）、土田 高史（富永製作所）、土田 富孝（ナカボーテック）、野崎 幸次（日本防蝕工業）、武藤 哲治（タツノ）、宮田 康司（元トキコテクノ）、宮田 義一（日之出水道機器）、柳下 朋広（タツノ）、

吉田 烈臣（日立オートモティブ S. M.）

3. 活動内容の紹介

実績：「材料と環境 2015」にて講演（2015 年 5 月）

：「技術フォーラム」にて講演（2015 年 12 月）

今後：改正規格書の発刊